執行方針

【要約版】



読書（input）と作文（output）をきっかけとし、学校・家庭・地域（団体）・行政が一体となり、“今金っ子”を育むことを目指します。

教育長　中山　秀悦

「今金町の子どもたちは今金町民の手で育む」を基本理念とし、今金町の財産である「地域の良さ」を、子どもたちや町民が「読む」「見る」「聞く」「話す」「書く」の観点から見つめ直し、すべての教育施策の中に折り込み、子どもたちの学ぶ力と生きる力（人間力）の向上に結びつけることを目指します。

1　変化していく社会を生きる力の育成

【確かな学力を育む教育の推進】

学校は授業が命。子どもが学びの意欲を継続するためには、教師の授業の流れが明確でなければなりません。習熟度別学習、授業改善推進チームを活用したチームティーチングなどで、生徒指導の機能が生かされている授業を目指します。

【豊かな心を育む教育の推進】

子どもたちが毎朝、友だちのいる学校に行くことが楽しみで目覚める日々を迎えられるよう、日々の児童生徒観察や、アンケートの実施と継続した対応を続けるいじめの未然防止に努めます。また、日頃の挨拶や礼儀正しさを重視してまいります。実体験の伴った心の教育に繋げられるよう、体験活動の充実を図り、いじめゼロ、ＳＮＳノートラブルを合い言葉に生徒指導の充実を図ります。

【健やかな体を育む教育の推進】

学習や人間関係の構築に向かう意欲の源は体力です。授業の導入段階において数分間の運動を取り入れるなど、体系化された体育授業の推進に努めます。また、「ふるさとの恵みとほほえみに感謝する日」をはじめ、今金町産食材の良さに触れる食育、食農教育など学校給食の充実と食育の推進に努めます。健康教育アドバイザーを核とし、連携した感染症予防対策を実践するなど家庭とつなぐ健康教育の推進に努めます。

【多様なニーズに対応した取組の充実】

特別支援教育が始まり10年以上が経過しました。本町の学校における特別支援教育においても、保健福祉課との連携や、特別支援教育スーパーバイザーによる適切な情報に基づいた子どもへの支援体制や、保護者支援等の充実を図ってまいります。特別支援教育支援員は5名の配置を予定しており、子どもたちに落ち着いた環境を与えるべく、授業中の体制支援や学習支援の充実を図ってまいります。

【幼児教育・子育て支援の充実】

昨年10月より施行された幼児教育無償化により、3歳児以上については保護者負担が大幅に軽減されたところです。3歳児未満についても引き続き保護者負担の軽減を図るため、所要の予算を計上しております。

子どもに関することは教育委員会が中心となって所管している「ワンストップ行政」の強みを生かし、「育ちの支援から就労支援」体制に基づき、0歳から18歳までの支援を基本としたオーダーメイドの支援を町内各機関と連携し行ってまいります。

2　地域の良さを活かし地域と共にある学校づくり

【家庭・地域との連携・協働の推進】

せたな警察署と連携した「ながら見守り」等の登下校の見守り活動を継続してお願いするとともに、昨年、今金小学校及び学童保育所へ設置しました防犯カメラを、新たに種川小学校にも設置するための予算を計上しております。

また、ゲストティーチャーを活用した生きた教材の授業。学校経営の意思決定や人的資源の支えとしてのコミュニティスクールの推進を図ってまいります。

【学校間の連携・継続性】

児童生徒の発達段階を踏まえた教育課程編成を進めます。合同授業やネット回線を通じた授業の試みなど、規模の異なる2小学校間の教育課程連携や授業連携、協働に向けた手立てを探ってまいります。

【学校における指導体制の充実】

楽しくワクワクするような授業を提供するには教職員自身の業務改善と働き方改革の意識化が重要です。ゆとりをもった業務の中で、仕事の精度を高めていくという効率化を図るためには、教職員の資質・能力の向上が欠かせません。様々な研修の機会を通じて人間関係形成力、ＩＣＴ活用能力を高める手立てをとってまいります。なお、

令和2年度 教育行政

今金小学校は令和2年度より、今金中学校と同様の2学期制を採用してまいります。

【今金中学校改築事業】

今金中学校改築事業につきましては、今金中学校改築実施設計業務等の委託業務を実施し、令和5年度の開校を目指し事業を進めているところです。本年度については、外構工事実施設計業務に係る所要予算を計上しており、併せて補助金要望申請手続きなどを進めてまいります。

3 今金への愛着を自己の成長と町の発展につなげる教育の推進

【協働性を重視した社会教育の推進】

学校教育と社会教育の連携の円滑化に努めます。体験プログラムを通して人材育成と教育機能を調和させた学校教育と社会教育の連携・融合を図ってまいります。

全ての学習の基盤として言語能力の育成はますます重要です。子どもたちが将来どのような場面に直面してしたとしても発揮できる確かな読解力を育んでいくこと。学習の質に大きく関わる語彙量を増やし、語彙を生活の中で活用できるよう、読書と作文のまちプロジェクトの推進を強化してまいります。

学校教育においては書く活動を重視し発表力の向上を図る取り組みを進めてまいります。

【図書関係ボランティア等と連携・協働した広がりのある図書活動】

「今金町図書振興計画」の基本方針に沿い、図書関係ボランティアや他機関と連携し、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層への読書普及活動を行ってまいります。他にも、図書だけでない情報サービスの充実に努め、町民と本・情報を結びつけるよう努めてまいります。

【豊かな国際感覚を育む教育活動】

ニュージーランド・バーンサイド高校との交流では、受け入れの年となります。これまで以上に生きた英会話を体験できる機会として、積極的に交流を図ってまいります。

新たに6代目となる国際交流アドバイザーを招聘し、国際理解教育・外国語教育の充実を図ってまいります。

【共に進める家庭教育】

本町でも核家族化は進んでおります。保護者が楽しい雰囲気で子育てを語れる・学べる「親学」の場として講座や親子向け事業を推進してまいります。

【人づくりの推進】

幅広い世代を対象とした「今金ふるさと塾」及び「動く公民館事業」を通年開催し、生涯学習を観点とした多様な学びの機会を提供する成人教育を推進してまいります。地域住民が子どもたちの学びや成長を支える取組を通して、地域の活性化を図ってまいります。

今金町が誇る数々の日本一の生産物等の地域資源を活用したふるさとキャリア教育を各学校と連携する中で、系統的に進めてまいります。

4 豊かな心を育む文化・芸術の振興

【文化・芸術活動の推進】

文化・芸術を通して仲間づくりや生きがいづくりを担う文化協会への運営支援を図り、生涯を通じた芸術文化活動の推進に努めてまいります。

【文化財保護の振興】

今金町には、町民が誇れる文化遺産や自然遺産が多数あります。幅広い年代層に認知されるような研修機会を設けるとともに、学校をはじめ観光施設や他市町村の文化財施設との連携を図ってまいります。

5 健やかな心身を育む生涯スポーツの振興

【スポーツ活動の推進】

今金町スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブいまかねと連携したスポーツ機会の提供に努めます。少年団活動の支援を通じて、その推進を図ってまいります。

【生涯スポーツの振興】

進む高齢化社会に備え、スポーツアドバイザーを核とした「i・フィット」等のスポーツ教室を開催し、保健福祉課と連携を図りながら、個人のライフステージに応じた運動プログラムの提供を目指します。

【スポーツ環境の充実】

町民体育祭等、各種団体との連携による多様な参加機会を提供してまいります。なお、今金橋改修工事により休止となっているオアシスパークゴルフ場については、利用団体等と協議を行い、再整備をしないことで了承を得ました。

令和2年度は「第6次社会教育中期計画」の策定の年に当たります。町の総合計画の策定と歩調を合わせ、社会教育関係委員の皆様の意見を得ながら策定を進めてまいります。

本町で育つ子どもたちが、夢と志を高くもち、変化の激しい予測困難な時代にあっても、その可能性とチャンスに心と目を向け、たくましく育ち、社会を創造していくことができるよう、学校・家庭・地域・行政がこれまで以上に連携を図りながら、着実に「人づくり」の取組を進めていけるよう努力してまいる所存でございます。